

主の祈り (93-5A)

天にまします われらの父よ
ねがわくは、み名をあがめさせたまえ
み国をきたらせたまえ
みこころの天になるごとく、地にもなさせたまえ
われらの日用の糧（かて）を、今日もあたえたまえ
われらに罪をおかすものを、われらがゆるすごとく
われらの罪をもゆるしたまえ
われらをこころみにあわせず、悪よりすくいだしたまえ
国と ちからと さかえとは、かぎりなく、
なんじのものなればなり

アーメン

石巻栄光教会宣教基本方針

石巻栄光教会は、主なる神と出会うイエス・キリストの体です。神様が愛している一人一人のかけがえのなさを思い出し、この世界を神様が大切にしていることを思い出す場所です。石巻栄光教会は、希望を生み出します。

私たちは、この社会の現実の中で生きています。教会の中だけでの満足にとどまらず、社会に生きる人々の痛みや苦しみ、あるいは楽しみを共にしていくこと、そして、悩みや不安を分け合って喜びに変えていく教会になることを願います。

また、一人一人の生き方を尊重するとともに、神様から一人一人に与えられている賜物を活かして、神さまと人を愛し、感謝しながら地域に仕えていく教会を目指します。



日本キリスト教団 石巻栄光教会

〒986-0854 石巻市大街道北2丁目12-3

電話/FAX：0225-22-4090

ホームページ：<http://tohoku.uccj.jp/i-eikou>

メール：i-eikou@tohoku.uccj.jp

振替口座：02280-8-2810

教会創立：1887年9月25日

集会案内

聖日礼拝	毎週日曜日	午前10:30
早朝礼拝	毎週日曜日	午前7:30
交わりの会	毎週日曜日	礼拝後
み言葉と祈りの会	毎週水曜日	午後7:30

2024年度標語 『これは、人の意志や努力ではなく、
神の憐れみによるものです』

- ◎ 聖日礼拝を共に守りましょう。
- ◎ 日ごと聖書に聞き、祈りましょう。
- ◎ 家族・地域に福音を届けましょう。
- ◎ 平和を創り出すために働きましょう。

No.2474

復活節第二主日
礼拝式順序

2025年5月4日
午前10時30分



受付
司会
献金
奏楽

礼拝当番は
礼拝堂に集まった人の中で
可能な方に担当いただきます。

前奏

招きの言葉 [46] エフェソの信徒への手紙第5章14節

讃美歌 25

子どもたちへのお話

祈り

司会者
一同
司会者

聖書

ヨハネ伝福音書10章11～28節
(新約聖書186ページ)

讃美歌 322 (1～4節)

お話し 「聞き分け、従う」

川上直哉 牧師

讃美歌 322 (5～6節)

献金

報告

讃美歌 91 (2節)

一同
一同
司会者
一同

祝福の祈り

後奏

*当教会では 着席のまま礼拝を守っています。
*旧約聖書は前半(P.1502まで)、新約聖書はその後ろです。
*献金の額はいくらでも結構です。持ち合わせがないときは次の機会に。

お知らせ

次週、礼拝後、聖餐式をいたします。
どうぞ、お覚え下さい。

今週の集会

☆「御言葉と祈りの時」 5月7日(水)19:30～ オンライン併用
☆「荊冠の神学」読書会 5月8日(木)10:00～ オンライン併用

次週の予告 (5/11)

☆ 復活節第三主日礼拝 (お話：川上直哉 牧師)

[聖書] 第二コリント5章17節
[お話し] 「誰でもキリストにあるなら」
[讃美歌] 26 543 92 [招きの言葉] 47

受付
奏楽

礼拝当番は礼拝堂に集まった人の中で
可能な方に担当いただきます。

お知らせ

◆今後の予定は以下の通りです

・5月9日(金)11時～ 宮城北地区婦人会総会(仙台川平教会にて)

・5月11日(日) 礼拝堂にて聖餐式執行

・5月27～28日(火～水) 日本基督教団東北教区総会

・6月8日(日) ペンテコステ

・6月15日(日) 10時半からの礼拝を中澤宣教師が担当

《 先週の集会統計 》

聖日礼拝	12人	み言葉と祈りの会	4人
早朝礼拝	—	聖餐式	5人
月定献金		特別献金	
宮本旻祐 (4・5月)		宮崎正美 (感謝) 石巻広域ワイズメンズクラブ (会場使用感謝) 宮本旻祐 (イースター・受洗記念)	
席上献金	¥13,000		

週報別冊

2025年5月4日号

1. 教会宛に、以下の通信が届いています。

【石巻栄光教会関係】

- 「感謝状」(日本基督教団仙台東教会) : クリスマス教会の伝統を継ぐ教会から、「2024 年度 1 年間の礼拝説教のご奉仕を心から感謝いたします。その時々にも必要な言葉が先生方の口を通して与えられ、励まされた 1 年でした。仙台東教会は 2025 年 4 月 1 日より、主が遣わしてくださった佐々木玲哉伝道師と共に主の導きの下、新たな歩みを始めます」と感謝のお便りをいただきました。
- 「教団新報」(日本基督教団) : 「礼拝出席者 7 名は変わらず前を向いています」と記す「朝ごとに新たにされる主の慈しみ」(日本基督教団本宮教会牧師 中条康仁さん) や、「震災前は『薔薇の教会』と称していた浪江伝道所も草が伸び放題で、放射線量が極めて高かった」と記す「小高・浪江伝道所の今」(日本基督教団総会議長 雲然俊美さん) 等、福島県の教会の様子が報告されています。

【日本基督教団・東北教区関係】

- 「部落解放祈りの日礼拝」(日本基督教団部落解放センター) : 6 月 30 日(月) 午後 2 時~3 時半と午後 6 時半~8 時に、オンラインで行われますことの連絡を頂きました。
- 「労伝ニュース」(関西労働者伝道委員会) : 「学生インターン報告: 釜ヶ崎で自らの立場を考えること——」(インターン生 佐々木愛 関西学院大学神学部 4 年) 等が掲載されています。
- 「ほんわか福島」(エッセイの木) : 福島主のあしあとキリスト教会(大島牧師)が、エッセイの木(仙台キリスト教書店)の販売を引き受けて下さることになり、5 月 10 日(土) 午前に関所のイベントを行うことになりましたことの連絡を頂きました。

- 「大人が楽しい絵本の世界」(エッセイの木) : 5 月 30 日(金) 14~15 時半に、児童書専門店「緑のゆび」主宰の吉井康文さんの講演会が、エマオで行われますことのチラシを頂きました。
- 「神と民の契約」(日本基督教団鹿児島鍛冶屋町教会 松本敏之牧師) : 川上牧師の文章も引用した説教集が上梓された、ということで、一冊、お贈りいただきました。

【その他教会・団体関係】

- 「FEBC 1 5 6 6」(キリスト教放送局 FEBC) : ミケランジェロの「楽園追放」を取り上げる「Session——アートの中の彼の声」(早矢仕宗伯 New Creation Arts Movement イエスの嵐 牧師)の放送予告などが掲載されています。
- 「第四回 SCAF・協力アーティスト募集」(仙台クリスチャン・アート・フェスティバル) : 9 月 13~15 日に仙台国際センター駅の「青葉の葉テラス」で開催される旨の連絡と募集を頂きました。
- 「Life of Light」(基督聖書塾) : エルサレムにある「ペンテコステの部屋」に向かう道の写真などが掲載されています。

2. 牧師動静

4月28日(月)

日中、教会で東北ヘルプの事務を執りました。

4月29日(火)

休暇を頂きました。

4月30日(水)

午前中、大籠で調査を行い、午後、休暇を頂き、夜、祈禱会を主宰しました。

5月1日(木)

午前中、一件の訪問をして「荊冠の神学」読書会と聖餐式を行い、午後、教会で執務しました。

5月2日(金)

午前中、宮城刑務所で教誨活動をし、午後、エマオで行われる仙台キリスト教連合の世話人会に出席しました。

5月3日(土)

休暇を頂きました。

- 先週日曜日に宮本さんから報告がありました「川辺の文庫」の準備が進んでいます。同信伝道会の仲間である仙台北教会の川端さんが主宰した「のぞみ文庫」の継承団体に、「栄光幼稚園」の書籍を活用いただきます。神さまから教会に預けていただいた財産が、地域のために活用されますことを、心から感謝しています。

5月5日(月)

午前中、お客様をお迎えして接遇し、午後、浦屋敷にある「石巻希望の家」の牧師就任式に出席します。

5月6日(火)

教会で執務します。

5月7日(水)

日中、教会で執務し、夜、祈禱会を主宰します。

5月8日(木)

午前中、一件の訪問をして「荊冠の神学」読書会と聖餐式を行い、午後、教会で執務します。

5月9日(金)

日中、仙台川平教会で宮地北地区婦人会総会に出席します。

5月10日(土)

福島へ出張します。

※牧師と面会をご希望される方は、どうぞ、ご遠慮なく教会のメール宛、ご連絡ください。日程を調整して、ぜひお目にかかりたく存じます。

3月11日、教団三役で、仙台から白石教会に向かい、東北教区東日本大震災14年記念礼拝に出席し、その後、高橋真人東北教区議長の先導で小高伝道所(福島県南相馬市)に向かった。

小高伝道所は東京電力福島第一原子力発電所から約18kmに位置し、浪江伝道所(福島県双葉郡浪江町。原発から約10km)に次いで、原発に近い教会である。

小高と浪江に10年前に訪問した時、町の様子はまさにコーストタウン化していた。小高伝道所では、震災時の状況そのまま

小高・浪江伝道所の今

の礼拝堂と幼稚園の教室を窓越しに見て、草が伸びている園庭で祈りをささげた。震災前は「薔薇の教会」と称していた浪江伝道所も草が伸び放題で、放射線量がきわめて高かった。

それが、この度訪ねてみるところ、両伝道所ともきれいに草が刈られ、会堂内も整理され、礼拝がなされていた。2022年に飯島信教師が両伝道所の牧

師として赴任し、東北教区をはじめ多くの方たちの協力を得て整えたのである。さらに驚いたのは、震災当日まで運営されていた小高教会幼稚園の卒園生などから声が寄せられ、地域の方たちの集会の会場として用いられているほか、幼稚園等の歴史資料を保管し、展示する記念館の開設が予定されているということである。

原発事故の影響が続く中、地域の方たちと共に歩む教会を覚えて祈り、支えて行きたい。

(教団総会議長 雲然俊美)